

平成21年度 地方の元気再生事業

「支え愛・ふれ愛をサポートするユビキタス・システム開発」
プロジェクト報告書

〈概要説明〉

平成22年3月

NPO法人熊本まちづくり

(熊本地域・元気再生事業 推進協議会)

総務省 九州総合通信局

★ NPO法人 熊本まちづくり ★

設立 平成20年 7月

設立に至る経緯

社会の急激な変動の下で、現在、地域は生活環境の悪化や生活基盤の不足・不備さらには”コミュニティ”の衰退などさまざまな問題に直面している。そうした状況の中で、住民生活の安心を保持していくためには、安全性・快適性・健康性・利便性・文化性などの基本的な生活要件の拡充がまず何よりも求められている。さらには、将来に向かって活力豊かな地域社会を創出していくことも重要になってきている。

本団体は、こうした地域社会を形成していくための活動を、関係する住民・事業者・大学・行政等の連携・協力で依拠しながら推進していこうとするものである。

NPO法人の役割

NPO法人熊本まちづくりは、地域で行われているまちづくり活動を支援するグループです。様々なまちづくりのきっかけを提供したり、地域の課題解決のため専門家としての意見をアドバイスしたり、校区を越えた課題に対処すべく関係機関と連絡調整を図ったりします。従来の校区単位によるまちづくりにこだわらず、熊本市という広い範囲でのまちづくりを考えます。

役員及び事務所

会長	丸山 定巳	熊本大学名誉教授 地域社会学専門
副会長	本間 里見	熊本大学准教授 都市工学専門
理事	森 蓉子	元上通郵便局長、現桜井通り会世話人
〃	加川 邦明	熊都市学研究所 代表取締役
〃	山下 定男	西日本測量設計㈱ 代表取締役社長
〃	田上 洋行	熊本東会計センター 代表

NPO法人熊本まちづくりは、会社に属する人もいますが、営利目的の活動ではありません。



活動報告

平成16年度

- ★ 熊本市東部地区まちづくり支援グループを結成
- * 五行歌募集企画(東部地域市民のつどいで表彰)
- * 東部10校区自治会長様との意見交換会「まちの語り」開催
- * 市町村民交流サッカー大会 開催

平成17年度

- * 熊本市長とまちづくりについて語る「ゆめトーク」参加
- * 五行歌募集企画(東部地域市民のつどいで表彰)
- * 東部3校区(尾ノ上・健軍・砂取)まちづくり検討会

平成18年度

- * 市町村民交流サッカー大会 開催
- * 五行歌募集企画(東部地域市民のつどいで表彰)
- * 「八丁馬場」発信！わがまち魅力再発見調査 実施
- * 「八丁馬場を考えるつどい」開催

平成19年度

- * 文化庁助成事業【伝統文化こども教室】「八丁馬場の歴史を学ぶ教室」開催
- * 内閣府助成事業【全国都市再生モデル調査】「八丁馬場」発信！わがまち魅力再発見調査 実施
- ★ 『NPO法人熊本まちづくり』を設立

平成20年度

- * 国土交通省補助事業【200年住まい・まちづくり担い手事業】

平成21年度

- * 国土交通省補助事業【住まい・まちづくり担い手事業】採択
- * 内閣府補助事業【地方の元気再生事業】採択

～ 私達は、皆様と一緒に地域のさまざまなことを学び、住みよいまちづくりを目指します ～

都市計画の専門家らにお任せを まちづくり‘お助けマン’



熊本市東部地区まちづくり支援グループの活動をきっかけに開かれた、各校区の代表らによる会合。校区を越えた活動が芽生えている



熊本市東部地区まちづくり支援グループが主催した第2回市町村民交流サッカー大会＝05年12月、熊本市の県民総合運動公園

校区越え交流、文化活動：熊本市東部地区 連携もプロの知識生かし貢献

熊本市東部の健康や尾ノ上・砂山など千校区を中心に、都市計画コンサルタント会社の経営者らがまちづくりグループを立ち上げ、地域おこしを推進。二年前の発足以来、校区を越えた交流の場を設けたり、文化活動に取り組みだしている。将来的には専門知識を生かしてまちづくりに貢献したいという。

この組織は、熊本市東部地区まちづくり支援グループ(会長・丸山定巳)熊本名誉教授、十二人。二〇〇四年四月、校区内に事業所がある道路、測量、都市計画などの専門会社の経営者や、大学研究者らで発足した。校区や町内会が主体となるのが一般的。「地元の企

業に勤め、地元で貢献したい」と思っている人は多いが、なかなかかわる機会がない」と同グループの加藤政和さん(五五)。



成の経緯を語る。飯森さんは企画整理のコンサルタント会社の支店長、加藤さんは建設コンサルタント会社の部長が本業だ。一風変わったグループだが、当初は「業者が金ゆけに動いている」と在民側に受け止められた。そこで、各校区の自治代表らと個別に意見を交換して理解を得たという。

これまで、自治会代表が話し合う「まちの語り」を主催。「私たちの度は約二百句が寄せられ、好評だ。同グループが働き掛け、東部地域まちづくり推進部との長い活動をしながら、私たちが地域で困ったことのお助けマンになれば」と話している。(小多恵)

支え愛・ふれ愛をサポートするユビキタス・システム開発

(熊本県熊本市)

近年、独居高齢者の増加が問題になっていることから、「QRコード活用の見守り情報伝達サイト(SNS)」の汎用性のある見守りツールを開発し、地域全体で助け合い、支援する仕組みを構築し、高齢者が住み続けられるまちづくりを目指す。



平成21年度の主な取組

- ① 平成20年度に理論構築した「QRコード活用の見守り情報伝達サイト(SNS)」の実施版の作成。
- ② 「QRコード活用の見守り情報伝達サイト(SNS)」の運用の具体化に向けた課題整理の検討。

平成22年度以降の展開

平成21年度に構築したQRコードを活用した、10校区全域における見守り推進、参加型の「3次元まちづくりゲーム」の汎用性推進などにより希薄化した地域コミュニティの改善を図る。

支え愛・ふれ愛をサポートするユビキタス・システム開発(熊本県熊本市東部10校区) -NPO法人熊本まちづくり-

地域の現状と課題(提案の背景)

・近年、独居高齢者の孤独死が身近な課題となった事、独居高齢者は自宅や地域を終の棲みかとする傾向にある事から、地域全体で助け合い、まちづくりで支援する仕組、特に今後確実に増加する高齢者を見守る仕組みの構築が喫緊課題となった。昨年度、「200年住まい・まちづくり担い手事業」のモデル地区として弱者を複数の住民で支えるため「高齢者の見守り手引き」の作成、「ふれ愛マップシステム(福祉GIS)」を作成し、今年度は継続して「QRコード活用の見守り情報伝達サイト(SNS)」の汎用性のある見守りツールを構築し、孤独死を防止し、住民相互に見守りながら住み続けられるまちづくりを進めることとしたい。

目指すべき地方再生の全体

○取組のねらい・実施主体間の連携等

平成20年度「200年住まい・まちづくり担い手事業」のモデル地区として弱者を複数の住民で支えるため「高齢者の見守り手引き」の作成、「ふれ愛マップシステム(福祉GIS)」を作成し、保健師・民生委員共々地域内で運用を進めているところであり、見守る側も高齢化しつつあり若手の協力が得にくい状況において多様な見守り態勢が必要となる中で、普及している携帯電話を利用した汎用性のある「見守りツール」を構築することにより、幅広い見守り態勢を構築することとした。

○主な取組

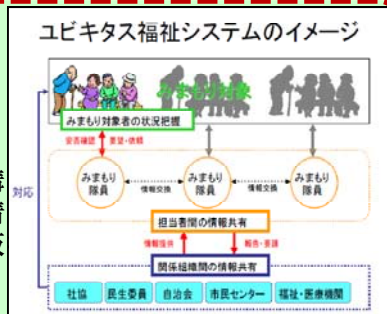
取組① 「QRコード活用の見守り情報伝達サイト(SNS)」の汎用性システムモデル構築

①取組内容

平成20年度「200年住まい・まちづくり担い手事業」において、理論構築した「QRコード活用の見守り情報伝達サイト(SNS)」の実施版をつくる。

②見込まれる効果等

予め、見守り対象者の情報(かかりつけ医、民生委員等)をデータベース化し、それらの情報にアクセス権のある見守り関係者がQRコードによって携帯電話で情報を取得し、特に災害時や緊急時の情報を共有や、日常の見守り履歴の共有ができる。



取組② ユビキタス社会実験

①取組内容

住民参加型「QRコード活用の見守り情報伝達サイト(SNS)」の実施を保健師や民生委員、ケアマネージャー、地域の代表者、その他と運用の具体化に向けた課題整理を検討する。

②見込まれる効果等

昨年、作成した「高齢者の見守り手引き」、「ふれ愛マップシステム(福祉GIS)」と併せた見守り運用を検証することにより、住民相互に負担軽減の取り組みへの認識を普及させること、専門員だけに任せない協働への認識、見守り連絡協議会の結成に向けた活動が可能となる。

◆地方の元気再生事業◆

◆実施スケジュール◆

H21年7月
～
H22年1月

- ①「QRコード活用の見守り情報伝達サイト(SNS)」の汎用性システムモデル構築
 - 1)システム設計
 - 2)システム構築
 - 3)汎用モデルの構築

H21年8月
～
H22年1月

- ②「ユビキタス社会実験」多世代のまちづくり参加
 - ②-1 システム活用に係るアンケート、実験参加者募集
 - ②-2 運用実験 運用講習会、関係者、専門家参加の運用協議会開催
 - ②-3 見守り連絡協議会結成準備

H22年4月
～

10校区への展開

H23～

- ・全市への展開
- ・八丁馬場参道と水前寺公園、江津湖、商店街を繋ぐ緑軸イベントの実施

◆H22年度以降の展開◆

・東部市民センターと協働で、QRコードを活用した、10校区全域における見守り推進、参加型の「3次元まちづくりゲーム(H19都市再生モデルで構築)」の汎用性推進、希薄化した地域コミュニティの改善、様々なイベントを実施

◆地方再生の目標像◆

今後の地方都市活性化の基本は、高齢化少子化に対応し、豊かな地方都市の魅力を十分に引き出し、住続けられる「街」の創出である。本物の文化・歴史・自然に合わせて、地域扶助の仕組み取組にあふれた、終の住処づくりが地方都市に求められている。都会にはない温もりや支援がこれからの地方都市の魅力であり活力の源である。そこで積極的参加型の取組モデルを構築する。

主な取組の調査・活動フロー

取組①. システム開発

①汎用システムモデル構築

1. システム全体の企画・設計
2. システムの構成
3. システムの主な機能
4. 想定したシステム利用者の分類と役割
5. 想定したシステム利用シーン
6. システムの導入と社会実験
7. システムの成果と課題

取組②. 社会実験

②ユビキタス社会実験

②-1 ユビキタス社会実験の準備、実施体制構築

- i) 公募、ケアマネ協会依頼
- 11チーム
- ii) 機材調達
- iii) 見守り対象者の特定
- 要介護8名
- 地域見守り型3名 (要支援1名含)

②-2 ユビキタス実験の運営に係る準備

- 自主勉強会
 - i) 8月6日(木)
 - ii) 9月5日(土)
- 協議会設置
 - i) 9月25日(金)
 - ii) 10月19日(月)
 - iii) 3月26日(金)

②-3 ユビキタス社会実験

- 11月16日(月)～12月15日(火)
- i) 実験説明会 (10/30～11/13)
 - ii) ユビキタスシステムに係る意見交換会 (ワークショップ)
1回目: 12月1日(火)
2回目: 12月22日(火)
 - iii) 実験参加者及びワンストップ (ケアマネ、地域社協) アンケート

②-4 ユビキタスの継続実施に係る地域運営組織、汎用性を意識した地域見守り手法の整理

③今後の推進に係る課題整理

- ③-1 今年度実施における課題整理
- ③-2 残された課題解決のための方法
- ③-3 地方におけるICT活用の元気再生のあり方

《協議会の開催》

第1回協議会 平成21年9月25日(金)
尾ノ上地域コミュニティセンター

ケアマージャーに利用法を説明

予備実験チームによるデモ

第2回協議会 平成21年10月19日(月)
くまもと県民交流会館パレア

利用方法の説明DVDを作成

説明DVDを使って実験チームに説明(11ケース)

携帯電話を配布

予備実験(1週間)

本実験(4週間) 11/16～12/15

利用アンケート/ヒアリング実施

携帯電話を回収

第3回協議会 平成22年3月26日(金)
くまもと県民交流会館パレア



協議会委員・実験参加者による中間意見交換
H21/12/1(火)

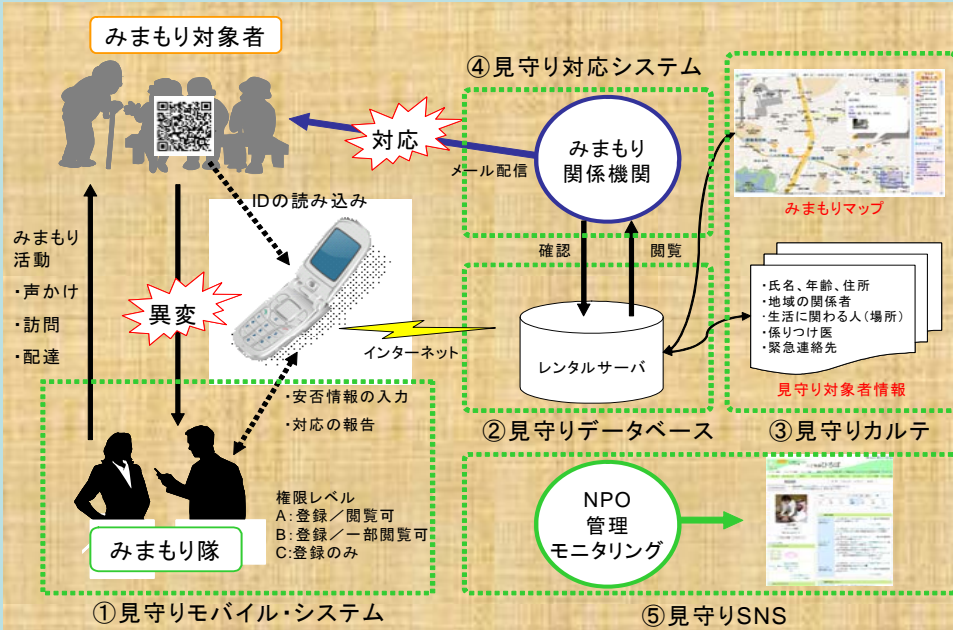


実験参加者による意見交換(ワークショップ)
H21/12/22(火)

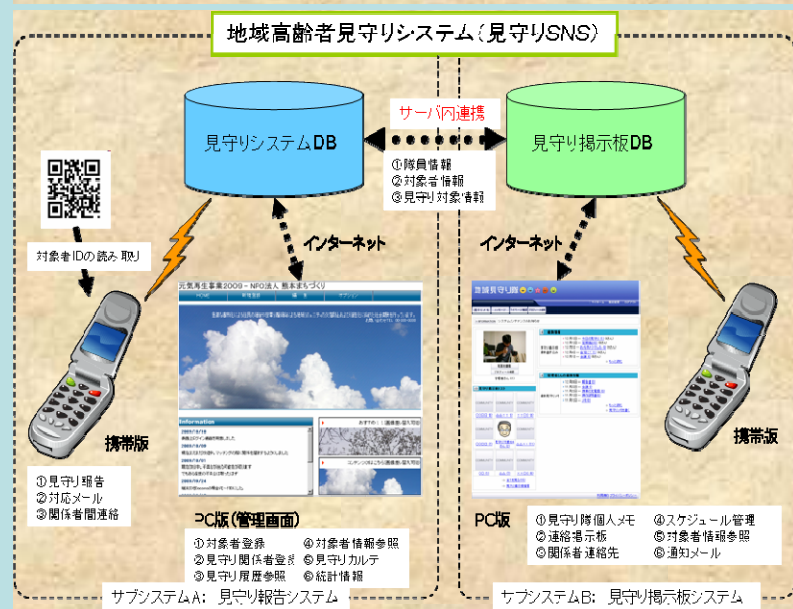


取組①. 汎用システムモデル構築

QRコードを活用した地域高齢者見守り活動のイメージ



地域高齢者見守り活動(見守りSNS)の構成



システム利用者の想定

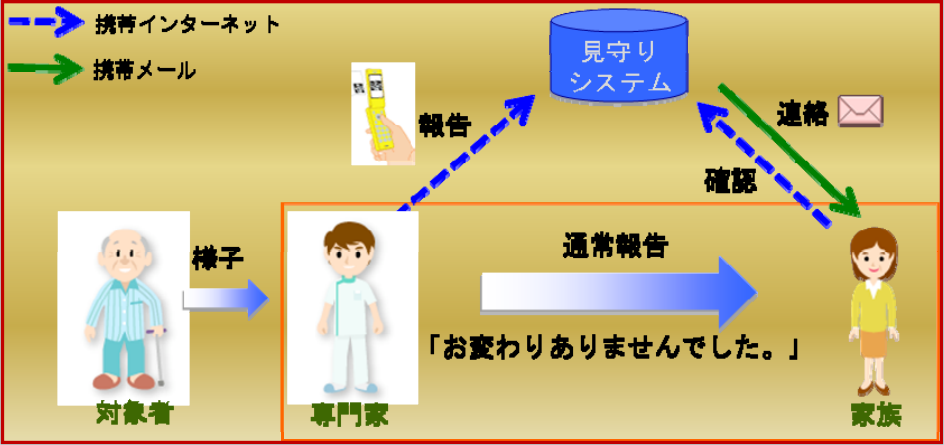
見守り隊		役割
	ケアマネージャー	<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動の中心(ワンストップ) 緊急報告の連絡者を選択する 緊急時の対応
	専門家 主治医 保険師 サービス事業所 包括支援センター 民生委員	<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動 通常報告 緊急/準緊急報告 緊急時の対応
	近所・友人	<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動 通常報告 緊急/準緊急/SOS
	家族	<ul style="list-style-type: none"> 通常報告の受信 緊急の場合は、ケアマネから連絡が入る

システム利用シーン

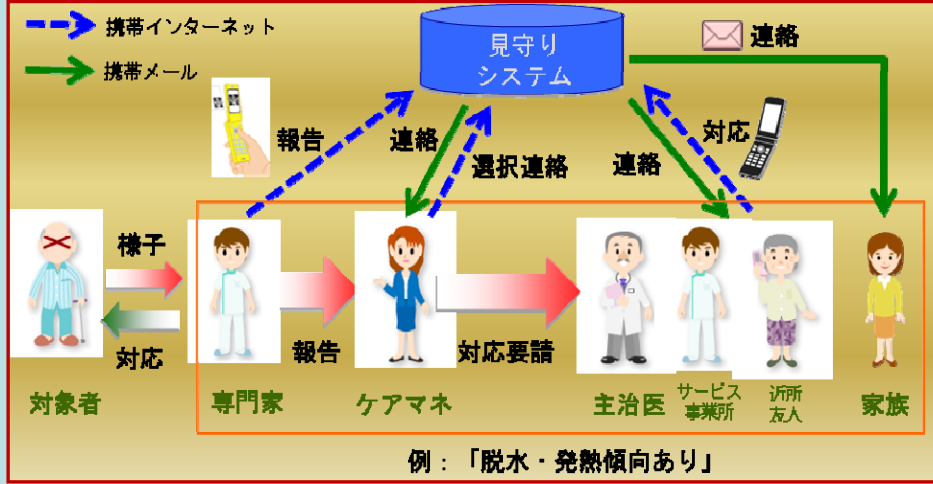
- シーン1 (専門家) 通常報告**
- シーン2 (専門家) 緊急・準緊急報告**
- シーン3 (近所・友人) 通常報告**
- シーン4 (近所・友人) 緊急・準緊急報告**
- シーン5 (近所・友人) SOS**

情報伝達・報告の流れ・イメージの例

通常の報告の流れ



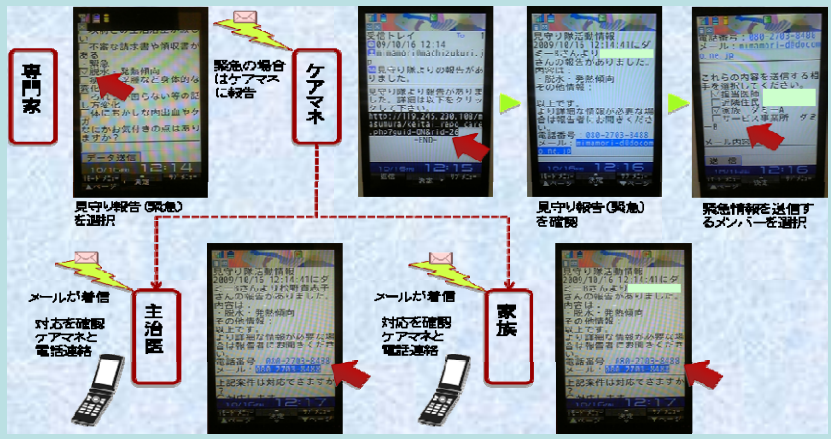
「緊急」「準緊急」報告の流れ



シーン1の画面イメージ



シーン2の画面イメージ



取組②. ユビキタス社会実験

i) 市民や関係事業者へ公募

ii) 関係者(介護事業者、ケアマネ協会、地域社会協議会、熊本市まちづくり室長会など)へ、不足分を依頼。

**「支え愛・ふれ愛」をサポートするユビキタス・システム社会実験
「高齢者見守りネットワーク」のモニター募集!**

NPO法人 熊本まちづくり

募集条件 (⑤⑥に該当する個人又は団体)
④「見守り隊」メンバー
 ①平成21年11月中旬から12月中旬の実験期間中、連絡が可能であること
 ②連絡窓口(実験の報告紙の取集場所など)の設置ができること
 ③実験後簡単にコメントをいただけること
 ④他の住民の協力を得られる環境であること
 ⑤見守りの対象者を複数人特定し、実験の了解を得られること
⑧見守り対象者
 ①期間中に連絡が可能であること
 ②実験後簡単にコメントをいただけること

「NPO法人熊本まちづくり」には、内閣府の「地方の元
 野村生業」補助指針を受け、
 貴方を「見守りネットワーク」
 への社会実験を熊本市内
 で行います。この社会実験に
 協力していただけるモニター
 を募集いたします。
 社会実験の目的は、住民・
 福祉施設等も一緒に支え愛・
 ふれ愛の地域ネットワークを
 構築することです。ユビキ
 タス・システムにより構築
 された「見守り」の環境を
 安心してご利用いただける
 声かけや訪問などで高齢者を
 見守る「見守り隊」メンバー



QRコードによる地域の見守りイメージ

熊本市花立 5-5-87
 ☎096(367)8900
 Email: tsgkkgw@interlink.or.jp
 (担当)松田・加川・山下

公募記事(「くまもとすぱいす」掲載)

使用機材の一覧

機材調達の内容	目的	台数
NTTdocomo	システム開発用・社会実験用	5台
auKDDI	システム開発用・社会実験用	55台
仮想専用サーバー	データ蓄積用(Webサーバー構築)	一式
データ通信端末	屋外通信(開発・実験)用	2台



見守り対象者	11名			
①	女性	82歳	要支援1	独居。自分で炊事する事が難しい
②	女性	80歳	要介護1	独居。パーキンソン症候群にて歩行困難
③	女性	82歳	要介護1	独居。歩き始めにふらつきがある
④	女性	82歳	要介護1	独居。椅子の生活を条件で在宅一人暮らし
⑤	女性	75歳	要介護3	夫(介護1)と二人暮らし。車いすで移動
⑥	女性	80歳	要介護5	独居。認知症状あり
⑦	女性	82歳	要介護1	現在長男夫婦と3人暮らし。アルツハイマー病
⑧	女性	93歳	要介護2	独居。身体機能低下
⑨	女性	63歳	要介護2	独居。若年性アルツハイマー
⑩	女性	74歳	介護度なし	夫と二人暮らし。リウマチを患う
⑪	女性	77歳	介護度なし	独居。変形性関節炎で20年間通院中

社会実験協力者集計表

見守り隊メンバー	57 (61)名	
ケアマネージャー	7	(2)名
地域包括	3	(1)名
主治医	6	名
薬剤師	1	名
保健師	3	名
社協	1	(1)名
サービス事業者		
訪問介護	9	名
訪問歯科	1	名
デイサービス	7	名
宅配サービス	1	名
近所・近隣	3	名
民生委員	5	名
家族	10	名

社会実験の説明資料

平成21年度 地方の元気再生事業

支え愛・ふれ愛をサポートするユビキタス・システム開発

社会実験の進め方

実験の目的と方法

NPO法人 熊本まちづくり

ユビキタス・システム活用の目標

連絡伝達の
迅速性

伝達の的確性

効率性

社会の安全・安
心性

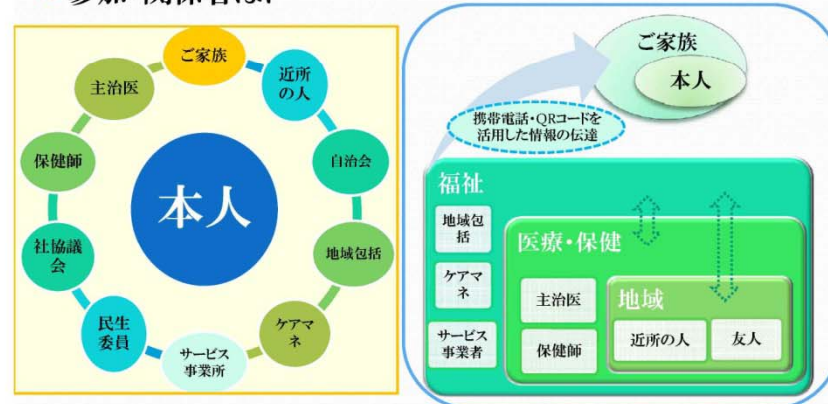
地域連携(コミュ
ニティー)構築

社会実験の目的

- 高齢化と核家族化が進行し、日常生活で近所付き合いなどの地域連携気運が薄れて来ている現代・社会に於いて、**住み慣れた地域で一生を安心して安全に生活できる地域環境・社会をつくる。**
- 日常生活で何か異変が起きた時に、地域でご近所同士で互いに支え合う事が出来る仕組み・連絡網をつくり、**地域連携・コミュニティの再構築を図る。**
- さりげない見守る仕組みや介護保健専門職の業務連絡用の道具として、携帯電話を活用してユビキタス社会での見守りシステム構築を前提とした、**システム開発に係る課題・問題点の抽出を目的とします。**

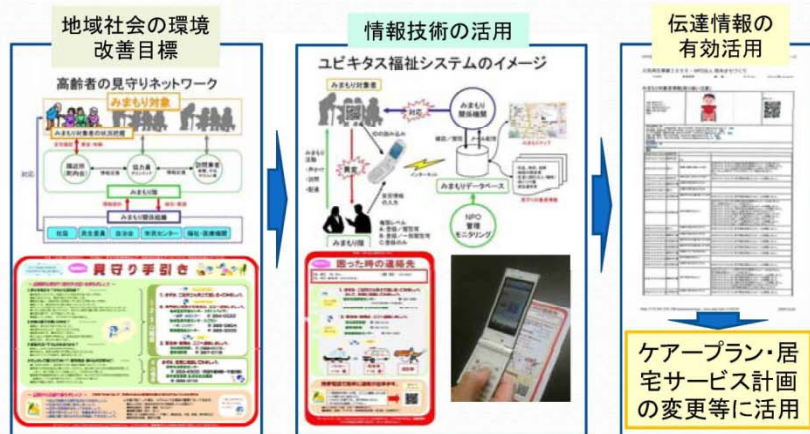
社会実験の期間と関係者

- **実験の期間**《11月16日(月)~12月15日(火)》
- **参加・関係者は、**



社会実験の説明資料

社会実験の概要

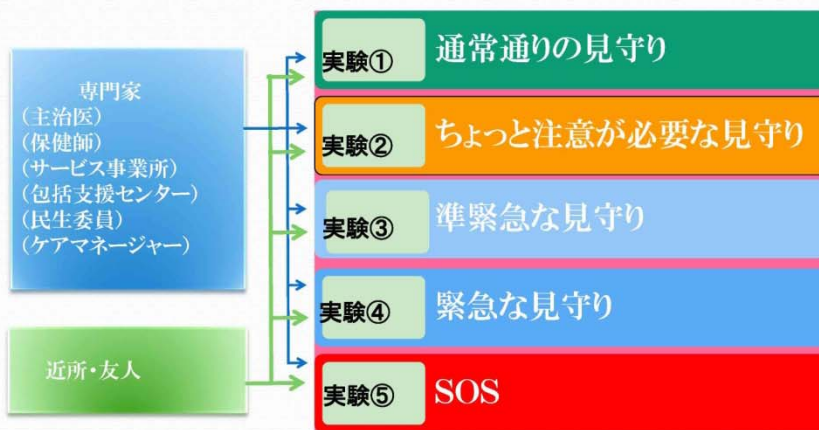


社会実験の見守り内容

□ 見守り内容(以下の①～⑤のシーン(場面)での活用実験)

見守り区分	見守り対応の内容	これらの連絡記録がサーバーに自動的に保存されます。	
① 通常通りの場合	・ご家族に、普段と変わらない状況、話し方、話題、行動などを通知		
緊急度に応じた見守り	② ちょっと注意が必要な場合		・微妙な異変や見守り対象者の病歴から継続した見守りが必要
	③ 準緊急な場合		・明らかに異変を感じかつ、緊急対応を必要と判断される見守り状況
	④ 緊急な場合		・緊急対応の判断を必要とする状況
⑤ SOS (速緊急) な場合	・緊急対応を行う状況		

社会実験のシーン(場面)

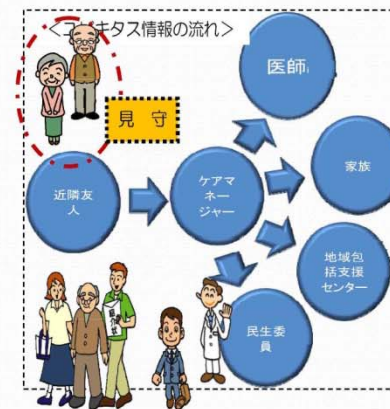


見守り情報の流れ

- 専門家が見守る場合
- 近隣・友人等が見守る場合

➢見守り情報のワンストップをケア・マネージャーが担当
(介護がつかない見守り対象者の場合は包括支援センター)

➢ケア・マネージャーの判断で、見守り隊・関係者に伝達する。
(携帯画面やチェック文が解りやすいか？操作案内の解りやすさが課題)



社会実験の説明資料

社会実験の実施(1)

● 実験は1か月内です。実際の見守りの場面に活用して見ましょう。

[11月16日(月)~11月21日(土)の間で]

◎ 関係者・見守り隊の都合が良い日・半日を選び、「通常通り」……「緊急」などの5段階の事態を想定・仮定した訓練を実施します。

- ◎「通常通り」… お変わりありませんでした : チェックして送信
(ご家族にメールが届きます)
- ◎「ちょっと注意」… 会話のつじつまがあわない : チェックして送信
(ケアマネさんにメールが届きます)
- ◎「準緊急」… 歩行状態がおかしい : チェックして送信
(ケアマネさんにメールが届きます)
- ◎「緊急」… 脱水・発熱傾向 : チェックして送信
(ケアマネさんにメールが届きます)
- ◎「SOS」… : チェックして送信
(ケアマネさんにメールが届きます)



社会実験の実施(2)

[11月16日(月)~11月21日(土)の期間は]

「携帯電話の操作をマスターしましょう!」…操作を覚えるために、間違ってもかまいませんので、一日に一回は送信して見ましょう。

『ご近所や友人の方は』…実際の見守りを行って、携帯電話で連絡して下さい。(成るべく、二・三日に一回は連絡をお願いします。)

《もしも連絡が、上手くいかない場合は普段の方法で、電話などで連絡して下さい》

『専門家の方は』…対象者・本人を訪問など対面されたら、必ず状況を連絡して下さい。

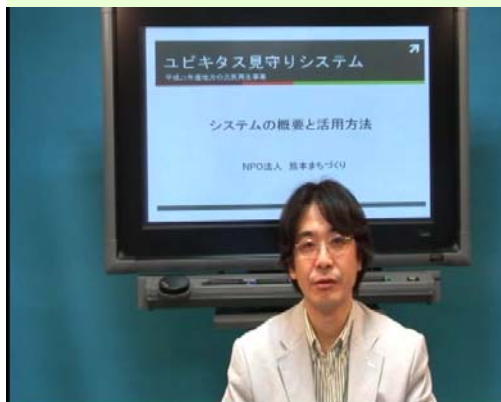
実験終了 [12月15日(火)]

12月15日(火)までに感想、気付きメモ書く。

(ケア・マネージャー、関係者の意見、意向をヒアリングし、15日(火)以降に「NPO法人熊本まちづくり」と打ち合わせし、携帯電話回収を行う。



社会実験説明と携帯電話の操作説明用ビデオ(DVD)を制作して配布



アンケート調査

見守りカルテ

平成21年度 元気再生事業 社会実験アンケート集計

アンケート回答者内訳 (1/5付 集計)

ケアマネジャー	7名 (2名)
地域包括	2名 (1名)
主治医	4名
薬剤師	1名
保健師	3名
社協	1名 (1名)
サービス事業者	
訪問介護	7名
デイサービス	8名
宅配サービス	1名
近所・近隣	3名
民生委員	6名
家族	8名
合計	51名 (全体57名)

1 携帯電話の操作について

① 簡単でした	31	63%
② 少し難しかった	16	33%
③ 難しかった	2	4%

- ・ SNSの活用が出来なかった。
- ・ 普段メールをしていない
- ・ 携帯端末に慣れてる世代では問題ないと思います。
- ・ SNSの使い方がまだ良く理解できなかった。
- ・ 少し使いにくかった。情報取得が上手くいかず、情報が取れない事が多かった。
- ・ メールをすることが無く、時間が少しかかりました。
- ・ 機種が違った事もあり、使いこなせなかった。
- ・ 確認は出来た。次のステップの連絡等が解らなかつた。
- ・ 機種が違っていても、使いやすく感じました。

2 携帯画面チェック文の内容について

① 解りやすかった	29	63%
② 少し解りにくかった	14	30%
③ 解りにくかった	3	7%

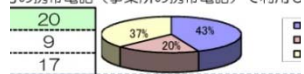
- ・ 解り易くはありましたが、チェック文が多すぎるように感じました。
- ・ 内容にバリエーションあるのでは。
- ・ 利用者ごとに、頻発する事項を自由に付け加える事が出来ると、便利だと思います。
- ・ チェック出来ない分も多いので、もっと大まかな内容の文にしてもいいのではないのでしょうか。具体的な内容はメモ欄に記入するといいいのでは。
- ・ 薬剤師としてのチェック項目がない。
- ・ チェック内容の不足（知らせたい内容が不足）
- ・ 項目が多いように感じました。もう少し簡素化してもいいのでは。
- ・ チェック項目が多い。

3 携帯画面を解りやすくする為に、文字や帯の色を変えた方が良いと思いますか

① 変えた方が良い	17	40%
② 今のままで良い	20	48%
③ わからない	5	12%

- ・ チェック文が少なくなれば今のままでいいと思います。
- ・ 解りやすい方向で。
- ・ レイアウトをもう少し見やすく工夫された方が良くと思います。
- ・ チェックを入れる際、どこにカーソルがあるのかわかりにくかった。青色の線を太くするか、色を変えたらどうか。
- ・ メール文面が最後なので、見にくい。最初に出てきた方が良い。
- ・ □チェックの所を太くした方が良くと思う。

の携帯電話（事業所の携帯電話）で利用し



が増える為1本化したい。（現在3台となった）
目し、少数の場合はどうか。
する時間が取れない。

事例、独居、支援困難事例に対してタイムリー

月をいくらか位までなら負担できると思います

100 円位まで	1
数百円 円位まで	1
500 円位まで	3
1,000 円位まで	3
2,000 円位まで	1
3,000 円位まで	1
0 円	2

が無いと難いです。導入するなら全ての利用

用で)

まで...という感じでは
と思う。

29	67%
2	5%
12	28%

れのみで良いのであれば、一斉送信でも良いと

わりや私事でうれしかったことなど一斉送信し

問題をクリアすること。

19	55%
12	34%
4	11%

せん。
に便利でした。

項目ごとにソート出来ると思いいます。

氏が印刷・閲覧出来た方が良くと思いますか

18	47%
2	5%
18	48%

元気再生事業 2009 - NPO法人 熊本まちづくり

HOME 新規登録 編集 オプション リセット(押しちやダメ)

みまもり対象者情報(取り扱い注意)

名前: 見守りタイ子 よみ: みまもりたいこ 住所: 熊本市月出4-4-31 電話: 096-382-0936 特記:		QRコード
<p>担当支援者一覧: ケアマネジャー 毛尼塚太郎 080-2703-8485 mimamori-a@docomo.ne.jp A 解読 担当医師 但東石男 080-2703-8486 mimamori-b@docomo.ne.jp A 解読 サービス事業所 鏡集寺行書 080-2703-8487 mimamori-c@docomo.ne.jp A 解読 家族 見守華族 080-2703-8488 mimamori-d@docomo.ne.jp A 解読 近隣住民 金リン 080-2703-8489 mimamori-e@docomo.ne.jp B 解読</p> <p>担当追加 連絡先追加</p> <p>履歴: 2009/10/18 17:54:45 但東石男 2009/10/18 17:55:04 但東石男</p>		
2009/10/18 19:33:42 金リン	新聞、郵便が溜まったまま	2009/10/18 19:34:51に但東石男(担当医師)さんにメールを送りました。 2009/10/18 19:35:20に但東石男(担当医師)さんはメールを開きました。 2009/10/18 19:35:28但東石男(担当医師)さんが対応できるように。 金リンさんより見守りタイ子さんの対応について報告がありました。
2009/10/18 19:49:31 但東石男	身なりがしっかりしています	2009/10/18 19:50:19に見守華族(家族)さんはメールを開きました。
2009/10/18 19:51:29 鏡集寺行書	お変わりありませんでした	
2009/10/18 19:52:14 金リン	お変わりありませんでした	
2009/10/18 19:52:18 毛尼塚太郎	庭の手入れ水遣りをしています	2009/10/18 19:52:50に見守華族(家族)さんはメールを開きました。
2009/10/18 19:54:56 毛尼塚太郎	歩行状態が細かい	2009/10/18 19:57:39に但東石男(担当医師)さんにメールを送りました。 金リン(近隣住民)さんにメールを送りました。 2009/10/18 19:58:17に金リン(近隣住民)さんはメールを開きました。 2009/10/18 19:58:39に但東石男(担当医師)さんはメールを開きました。 2009/10/18 19:59:33金リン(近隣住民)さんが対応できるように。 2009/10/18 19:59:34但東石男(担当医師)さんはメールを開きました。 2009/10/18 19:59:56に金リン(近隣住民)さんはメールを開きました。 2009/10/18 20:00:04金リン(近隣住民)さんが対応できるように。 2009/10/18 20:00:23に金リン(近隣住民)さんはメールを開きました。 2009/10/18 20:00:30金リン(近隣住民)さんが対応できるように。
2009/10/18 20:03:24 金リン	お変わりありませんでした	2009/10/18 20:03:59に見守華族(家族)さんはメールを開きました。
2009/10/18 20:06:03 鏡集寺行書	お変わりありませんでした	2009/10/18 20:06:32に見守華族(家族)さんはメールを開きました。
2009/10/18 20:19:45 毛尼塚太郎	庭の手入れ水遣りをしています	2009/10/18 20:20:52に見守華族(家族)さんはメールを開きました。
2009/10/18 20:21:45 毛尼塚太郎	庭の手入れ水遣りをしています	2009/10/18 20:22:22に見守華族(家族)さんはメールを開きました。
2009/10/18 20:23:31 鏡集寺行書	会話のつじつまが合わない	2009/10/18 20:24:09に見守華族(家族)さんはメールを開きました。
2009/10/18 20:25:28 鏡集寺行書	歩行状態が細かい	
2009/10/18 20:37:55 毛尼塚太郎	お変わりありませんでした	2009/10/18 20:38:26に見守華族(家族)さんはメールを開きました。
2009/10/18 20:39:55 鏡集寺行書	歩行状態が細かい	2009/10/18 20:41:11に但東石男(担当医師)さんにメールを送りました。 見守華族(家族)さんにメールを送りました。 2009/10/18 20:41:41に但東石男(担当医師)さんはメールを開きました。 2009/10/18 20:41:48に見守華族(家族)さんはメールを開きました。 2009/10/18 20:42:29に見守華族(家族)さんはメールを開きました。 2009/10/18 20:42:36に但東石男(担当医師)さんはメールを開きました。 2009/10/18 20:42:44但東石男(担当医師)さんが対応できるように。 2009/10/18 20:43:04見守華族(家族)さんは対応できないようです。
2009/10/18 21:07:42 毛尼塚太郎	お変わりありませんでした	2009/10/18 21:08:13に見守華族(家族)さんはメールを開きました。

協議会の運営

熊本地域・元気再生事業 推進協議会 委員

氏名	所属
石原 純生	熊本市の元市民生活部 市民生活課長 (まちづくり推進員)
藤谷 仁雄	熊本市企画財政局企画調整部 部長
香山 秀子	宇佐法人経営学部 熊本保健科学大学 保健科学部看護学科
河内 悟	社会福祉法人 熊本社会福祉協議会 地域福祉課長
島田 政次	熊本県地域振興推進委員会 事務局 会長
家 良治	熊本市健康福祉局保健福祉部 高齢福祉課長
土屋 政伸	介護老人保健施設おひつろ 介護支援専門員
藤澤 久史	熊本市中幸4地域包括支援センター やすらぎの森 (財団)
丸山 定巳	国立大学法人 熊本大学 客員教授
本間 重晃	国立大学法人 熊本大学 大学教育情報連携総合研究センター 准教授 (副会長)
加川 邦明	株式会社都立学研究所 代表取締役 (理事)
山下 定男	西日本建築設計株式会社 代表取締役 (理事・事務局長)
西川 智徳	株式会社熊本建設コンサルタント 代表取締役 (会長)
宮本 信雄	東和建築設計株式会社 代表取締役 (会長)
上田 浩之	社会福祉法人熊本社会福祉協議会 地域福祉課
谷 昭子	熊本市元保健福祉センター 主幹 兼 地域健康係長
事務局	松田 清香

『熊本地域・元気再生事業推進協議会』
 行政(県・市)、介護福祉専門事業者、大学教授、地元企業、NPO会員から成る16名の委員で組織。



第1回協議会：平成21年9月25日(金)



携帯とネットで 独居老人見守る

熊本市 NPOシステム実験へ

熊本市のNPO法人 熊本まちづくり(丸山定巳会長)は11月中旬、定例会を兼ねて「独居老人の見守りシステム」の実験を始める。25日、行政や福祉関係者らに内容を説明した。

独居者1人に対し、近所の住民や福祉・医療関係者ら10人ほどが見守り役として登録。「今日(は)ハビリのため通院」「家に新聞が



独居老人の見守りシステムを説明する熊本まちづくりメンバーら＝熊本市の尾ノ上地域コミュニティセンター



第2回協議会：平成21年10月19日(月)



第3回協議会：平成22年3月26日(金)

独居老人見守りシステム実験

10世帯モデルにテスト

熊本市 NPO法人熊本まちづくり(丸山定巳会長)は19日、11月10日から実験を始める「独居老人の見守りシステム」について、熊本市を菊池市の計10世帯をモデルに選定。熊本市の県民に流館パレアでテストした。

同システムは、独居老人をインターネットと携帯メールを使って「福祉・医療関係者」が見守り役として登録し、ケアマネジャーが見守りの要になる。(農学生)

テストには、加ケアマネジャー、医師、住人の役に分かれ、情報やりとりと対応を試みた。福祉サービス担当者、異業種をネットワーク上に連携し、メールが届き、医師らに対応を依頼した。

社会実験の対象者は、ほとんどが介護保険や、ケアマネジャーが見守りの要になる。(農学生)

たまっている「など」国の「地方の元気再生事業」(本年度全国変など)に対応できるようなにする。

見守り役が携帯電話で情報ボックスに異変などを書き込めば、ケアマネジャーや医師らにメール配信される。個人情報保護のため、情報を送るのは専門職に限る。

実験は11月。同市を中心として、熊本市を菊池市を予定。26日から見守り役を含め募集する。

丸山会長は「一人一人の関わりが希薄になり、地域での見守りが難しくなってきた。進化した情報機器でカバーする試み」と話している。事務局・西日本測量設計 096(367)8900。(農学生)

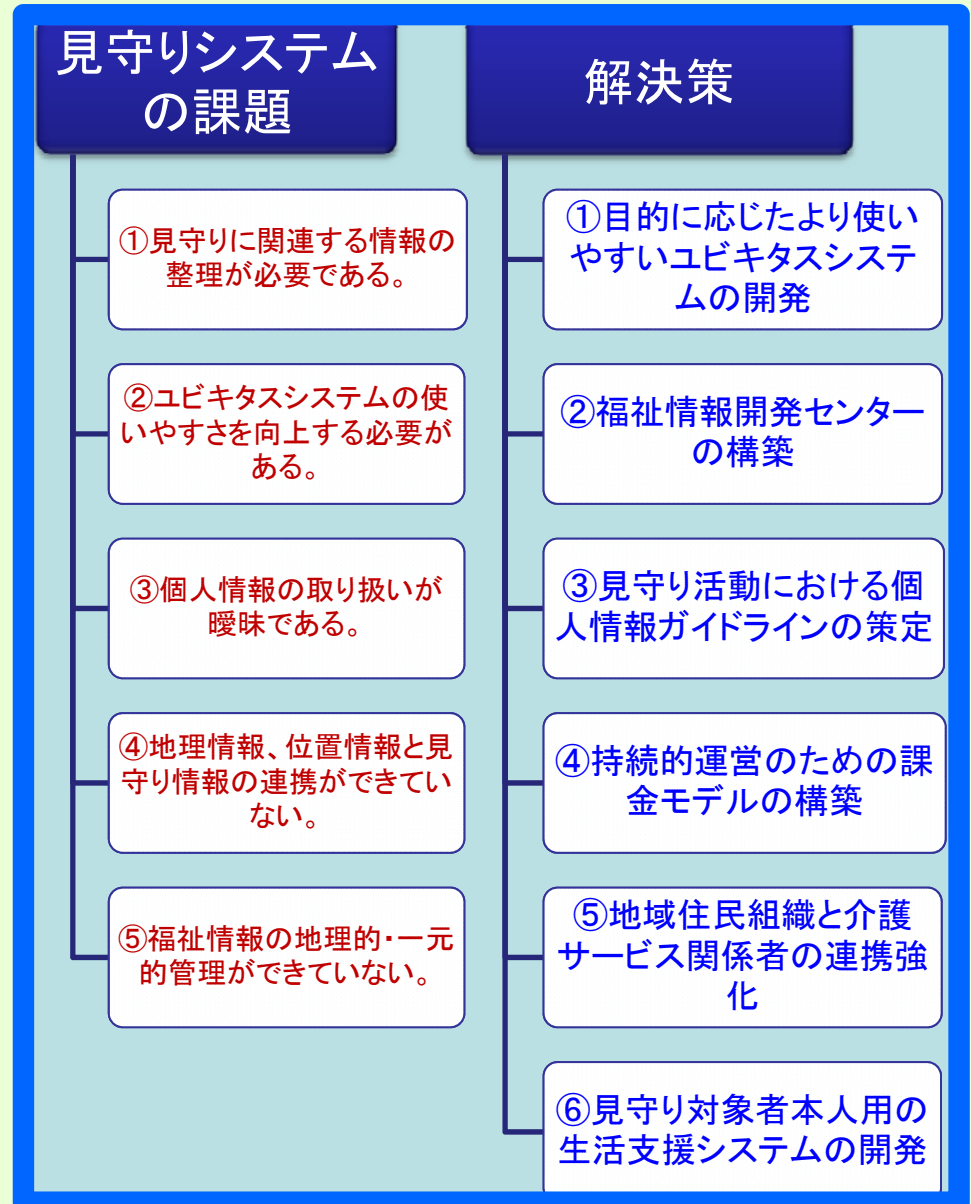
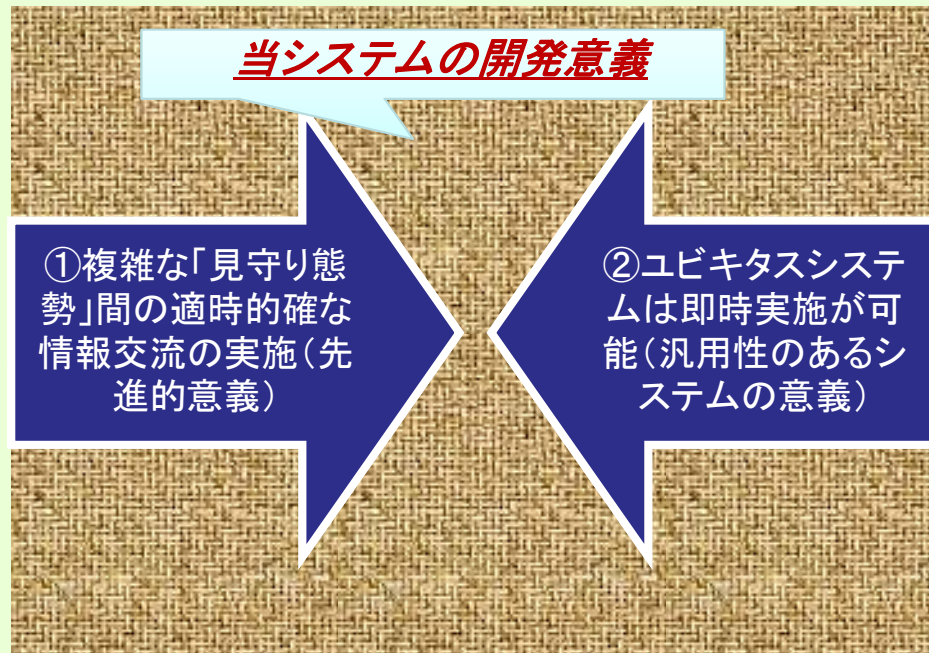
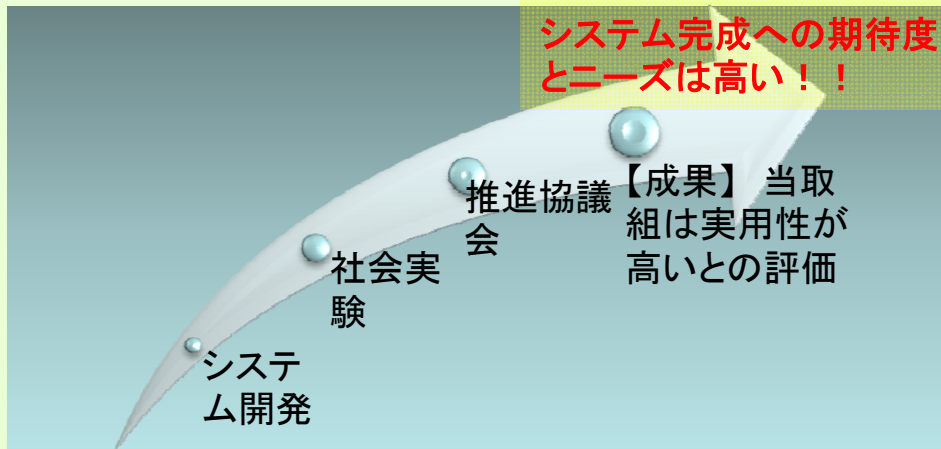


協議会委員・実験参加者による
中間意見交換：H21/12/1(火)



実験参加者による意見交換(ワークショップ)：H21/12/22(火)

課題と今後の展望

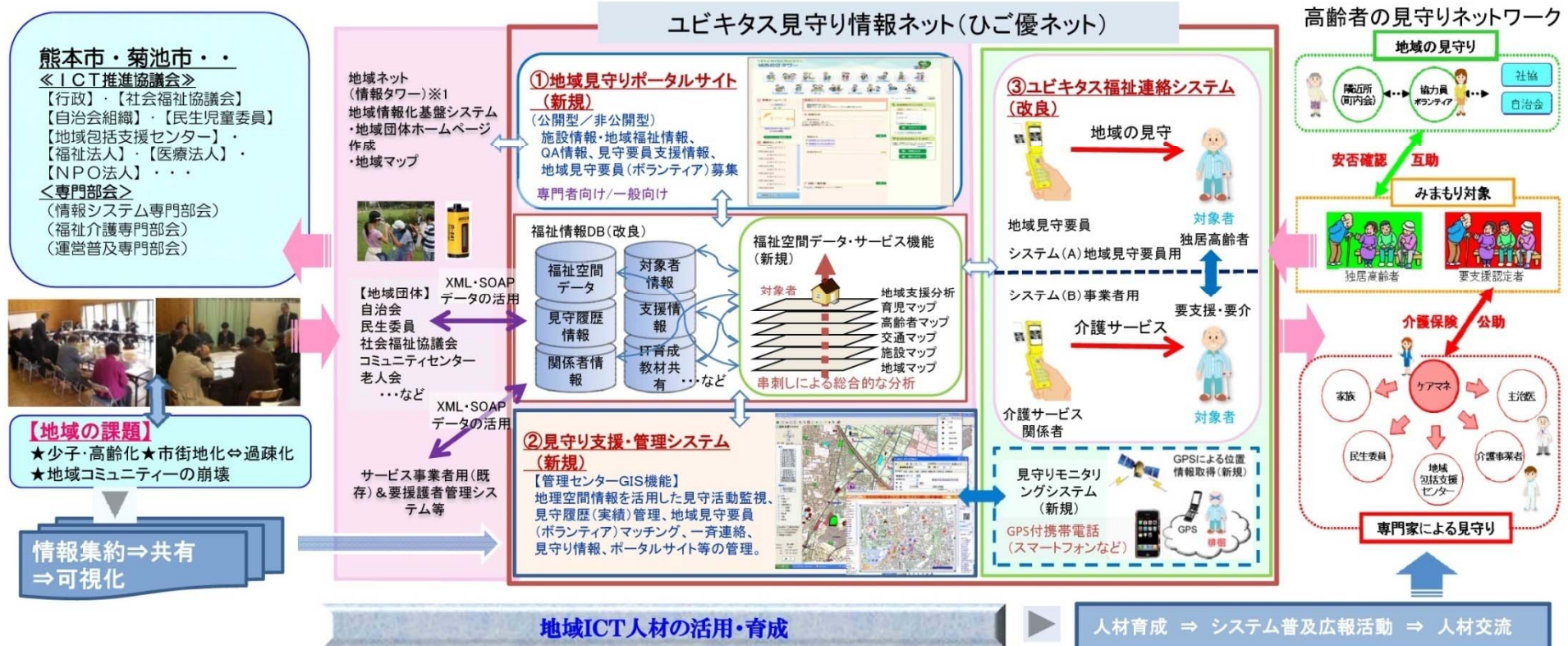


地域のソーシャルキャピタル（地域力）を豊かにする
 ユビキタス見守りネットワーク（ひご優ネット）の構築

NPO法人熊本まちづくり

・イメージ詳細図

実施団体名	運営主体（予定）	利活用分野	主なシステム機器等
NPO法人熊本まちづくり	NPO法人熊本まちづくり	福祉・介護・医療	携帯電話端末・地理情報システム（GIS）・リアルタイム位置情報（GPS）・SNS・Webサーバ・共用空間データ
事業概要		期待される効果	
地域情報を集約・管理・活用する「ユビキタス見守り情報ネット」を構築し、地域弱者の見守り活動・業務を支援するシステムの開発。		少子・高齢社会の地域課題解決に対応する保健福祉分野の高度情報化、及び地域コミュニティの再生。	



■ ①地域見守りポータルサイト
 ・福祉情報（専門家向け・一般向け）のDB集積と発信
 ・福祉ICT人材育成のためのeラーニングコンテンツ
 ・地域の福祉空間データをGISを利用して発信
 ・地域ネットとして既存システムとの連携
 ・見守り要員（ボランティア）の募集
 (効果) 地域団体（老人会、自治会、地域ボランティア、ワーカー）の利活用でコミュニティの再構築

■ ②見守り支援・管理システム
 ・見守り活動の支援者と要支援者の情報管理
 ・見守り活動の確認と実績管理 ・見守り要員のマッチング
 ・一斉同報連絡、ポータルサイトの管理
 ・GISを活用した位置空間的な情報の管理と可視化
 ・地域の福祉空間データを整備構築し、電子国土Webを活用
 (効果) 安心安全で緊急でも対応できる地域での介護、介助サービス、レスパイトケアへの展開

■ ③ユビキタス福祉連絡システム
 高齢者見守り情報伝達のための福祉SNSを構築
 ・地域見守り要員向け見守りシステム
 ・福祉サービス事業者（専門家）向け見守りシステム
 ・福祉空間データ・サービス機能
 ・GPSによる徘徊高齢者のモニタリング
 (効果) 地域弱者の見守り支援、介護・福祉・医療など関係者間の情報共有

ま と め

「特に工夫した点」

- ①福祉介護の専門家の協力者探し
- ②見守り対象者と見守り協力者のマッチング
- ③システム開発の機能の最適化

「独創的で特に優れていると思われる点」

- 福祉介護分野の業務、人・相手の細分化された複雑な分野・業務の情報化に挑戦した。
- 人の感情や信頼感が重要で個人情報取り扱いなど、作業・業務の統一化・画一化などの情報化が難しい、あいまいな部分・分野に於けるICTの利活用。

「苦労した点、反省点」

- 社会実験の協力者の募集
- システム設計におけるデータベースの構造・規格の設計
- 使用機器(実験用携帯電話(60台))の調達
- 単年度(実質半年)の活動期間

「今後ICT利活用推進に取り組む団体への助言」

- どんなに高度で良いシステムを作っても使われなければ意味がないので、関係者・当事者の中でのICTへのニーズの調査・開発に、まず力を入れる必要を感じました。